

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年3月10日作成)

小委員会名	建築保全標準対象拡大小委員会	主査名：野口 貴文 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (改修工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主査名：本橋 健司
設置期間	2022年4月 ～ 2024年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>既存鉄筋コンクリート造建築物の保全に関して、構造体・仕上・防水を対象として、保守・点検、調査・診断、補修設計および補修工事に関わる標準仕様書および規準が制定されたが、鉄骨造および木造についても、同様の仕様書・規準の必要性が高く、鉄骨造・木造の専門家に非構造部材の専門家も加えて、鉄骨造、木造それぞれの保全標準の策定について具体的に検討を進める。</p> <p>初年度：①鉄骨造建築物、木造建築物および非構造部材の保守・点検、調査・診断、補修設計および補修工事の標準仕様書・規準のあり方・方向性とスケジュールの検討、②経年劣化以外によって損傷を受けた建築物の補修・改修に関する標準仕様書・規準の制定の必要性の検討、③標準仕様書の目次案作成と執筆者案の検討</p> <p>2年度：標準仕様書の目次と執筆者案の作成</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：野口貴文(東京大学) 幹事：清家剛(東京大学) 委員：青木謙治(東京大学)、石山央樹(大阪市立大学)、五十田博(京都大学)、伊藤拓海(東京理科大学)、伊山潤(東京大学)、兼松学(東京理科大学)、河端昌也(横浜国立大学)、熊谷亮平(東京理科大学)、奥石直幸(早稲田大学)、近藤照夫(ものづくり大学)、澤田樹一郎(島根大学)、藤田香織(東京大学)、脇山善雄(国土交通省国土技術政策総合研究所)、</p>	
設置WG (WG名:目的)		
2022年度予算	400,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5回(合同WG含む、年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>①鉄骨造建築物、木造建築物および非構造部材の保守・点検、調査・診断、補修設計および補修工事の標準仕様書・規準のあり方・方向性とスケジュールの検討、および③標準仕様書の目次案作成については、鉄骨造チームと木造チームに分かれ、それぞれのグループに非構造部材の専門家が加わって議論を重ねた結果、それぞれの構造における標準仕様書・規準の方向性についてほぼ共通認識が得られるに至ったが、②経年劣化以外によって損傷を受けた建築物の補修・改修に関する標準仕様書・規準の制定の必要性の検討、および③標準仕様書の執筆者案については、時間が足りず議論するには至らなかった。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	鉄骨造・木造それぞれの保全標準の形が見えてきた段階で、保全標準全体の構成(構造種別ごとの編成とするか、JASSのような細分化した構成とするかなど)について、再度の審議が必要となりそうである。